



大津市公報

令和4年6月1日
号外(第29号)

発行所 大津市役所
発行人 大津市
毎月1日、15日(休日の場合は翌日)発行

目 次

161 令和3年度下半期の大津市の水道事業、下水道事業及びガス事業の業務状況の公表について…………… 1

告 示

大津市告示第161号

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2第1項の規定により、令和3年10月1日から令和4年3月31日までの大津市の水道事業、下水道事業及びガス事業の業務の状況を次のとおり公表する。

令和4年6月1日

大津市長 佐藤 健 司

第1 水道事業

1 事業の概況

(1) 総括事項

(業務状況)

令和3年度下半期の水道事業は、給水戸数は前年同期と比較して1,696戸(1.1%)増加しましたが、期間給水量は前年同期と比較して56万^m³(2.9%)減の1,890万^m³となりました。

(建設・改良・維持管理)

水需要の減少に伴う浄水場の統廃合に向けて進めてきた比良・八屋戸浄水場間を結ぶ送水管の整備工事が完了したことから、令和4年3月末に比良浄水場を廃止し、加圧施設へ切り替えました。また、瀬田地区の安定給水のため、瀬田公園配水池系の配水幹線の整備を実施しました。

改良事業では、健全管路の確保、安定した給水及び漏水の防止を図るため、老朽铸铁管や鉛製給水管の布設替工事を計画的に行うとともに、令和2年度に引き続き、山上配水池系送水管の老朽管布設替工事を実施しました。

また、浄水場等施設の耐震化を含む柳が崎浄水場の改良工事を実施しました。

その他、24時間体制の下、修繕業務等を行いました。

(経理状況)

令和3年度下半期の収益総額は、前年同期と比較して1億5,660万円(4.2%)減少し、35億4,256万円となりました。一方、費用総額は2億5,941万円(7.3%)減少して、32億8,883万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き2億5,373万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

区 分	単位	令和3年度 下半期	令和2年度 下半期	比較増減	伸び率 (%)
期 末 給 水 戸 数	戸	159,913	158,217	1,696	1.1
期 間 給 水 量	m ³	18,899,353	19,462,800	△ 563,447	△ 2.9
一 日 平 均 給 水 量	m ³	103,843	106,938	△ 3,095	△ 2.9
給 水 収 益	円	2,961,735,444	3,076,197,792	△ 114,462,348	△ 3.7
受 託 工 事 収 益	円	8,258,905	12,239,340	△ 3,980,435	△ 32.5
そ の 他 収 益	円	572,565,182	610,726,791	△ 38,161,609	△ 6.2
総 収 益	円	3,542,559,531	3,699,163,923	△ 156,604,392	△ 4.2
総 費 用	円	3,288,825,445	3,548,238,114	△ 259,412,669	△ 7.3

※ 文中の金額などは、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

(1) 損益計算書

ア 下期

損益計算書

令和3年10月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	(3,009,059,155)	営 業 費 用	(3,140,731,397)
給 水 収 益	2,961,735,444	浄 水 費	702,161,023
受 託 工 事 収 益	8,258,905	配 水 費	388,670,203
そ の 他 営 業 収 益	39,064,806	漏 水 対 策 費	26,321,971
営 業 外 収 益	(533,097,800)	給 水 費	205,111,340
受 取 利 息 及 び 配 当 金	755,434	受 託 工 事 費	11,274,427
加 入 金	99,450,000	業 務 費	193,972,290
他 会 計 負 担 金	9,584,476	総 係 費	203,200,696
長 期 前 受 金 戻 入	351,478,026	減 価 償 却 費	1,324,988,526
引 当 金 戻 入 益	629,530	資 産 減 耗 費	85,030,921
雑 収 益	71,200,334	営 業 外 費 用	(148,093,388)
特 別 利 益	(402,576)	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	124,128,466
固 定 資 産 売 却 益	402,576	雑 支 出	23,964,922
		特 別 損 失	(660)
		固 定 資 産 売 却 損	660
		当 期 純 利 益	(253,734,086)
計	3,542,559,531	計	3,542,559,531

イ 通期

損益計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	(6,070,573,918)	営 業 費 用	(5,393,431,561)
給 水 収 益	5,991,607,227	浄 水 費	1,072,111,889
受 託 工 事 収 益	21,573,985	配 水 費	587,744,325
そ の 他 営 業 収 益	57,392,706	漏 水 対 策 費	37,876,667
営 業 外 収 益	(1,079,657,168)	給 水 費	313,318,179
受 取 利 息 及 び 配 当 金	803,234	受 託 工 事 費	20,331,094
加 入 金	259,570,000	業 務 費	316,798,441
他 会 計 負 担 金	19,173,162	総 係 費	278,293,518
長 期 前 受 金 戻 入	687,400,026	減 価 償 却 費	2,653,028,526
引 当 金 戻 入 益	629,530	資 産 減 耗 費	113,928,922
雑 収 益	112,081,216	営 業 外 費 用	(336,218,530)
特 別 利 益	(439,342)	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	284,249,207
固 定 資 産 売 却 益	439,342	雑 支 出	51,969,323
		特 別 損 失	(660)
		固 定 資 産 売 却 損	660
		当 期 純 利 益	(1,421,019,677)
計	7,150,670,428	計	7,150,670,428

(2) 貸借対照表

貸借対照表

令和4年3月31日現在
(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[62,028,602,202]	固 定 負 債	[15,251,850,439]
有 形 固 定 資 産	(61,943,350,505)	企 業 債	14,523,299,439
土 地	4,060,133,417	引 当 金	728,551,000
建 物	3,776,976,085	流 動 負 債	[2,846,477,031]
構 築 物	91,647,663,703	企 業 債	1,272,837,173
機 械 及 び 装 置	19,413,749,828	未 払 金	1,380,738,496
車 両 運 搬 具	87,368,811	未 払 費 用	3,512,895
工 具、器 具 及 び 備 品	505,203,744	前 受 金	102,074,201
建 設 仮 勘 定	3,144,975,517	引 当 金	52,336,781
減 価 償 却 累 計 額	△ 60,692,720,600	そ の 他 流 動 負 債	34,977,485
無 形 固 定 資 産	(79,651,697)	繰 延 収 益	[12,651,241,981]
施 設 利 用 権	2,229,711	長 期 前 受 金	31,915,244,763
庁 舎 使 用 権	24,678,480	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 19,264,002,782
電 話 加 入 権	5,807,699	資 本 金	[34,740,008,908]
預 託 金	198,260	資 本 金	34,740,008,908
ソ フ ト ウ ェ ア	46,737,547	剰 余 金	[1,019,434,634]
投 資 そ の 他 の 資 産	(5,600,000)	資 本 剰 余 金	811,082,357
そ の 他 投 資	5,600,000	利 益 剰 余 金	208,352,277
流 動 資 産	[5,901,430,468]	当 期 純 利 益	[1,421,019,677]
現 金 ・ 預 金	5,169,277,436		
未 収 金	709,419,858		
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△ 9,781,000		
貯 蔵 品	30,889,174		
そ の 他 流 動 資 産	1,625,000		
計	67,930,032,670	計	67,930,032,670

(3) 企業債及び一時借入金

企業債総額は、令和3年度末現在、次のとおりです。

(単位：円)

借 入 先	企 業 債 未 償 還 残 高
財 務 省	3,570,640,208
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	12,225,496,404
計	15,796,136,612

一時借入金は、令和3年度末現在ありません。

3 令和4年度予算の概要及び経営方針

(1) 予算の概要

令和4年度の収益的収入予定額は75億7,553万円、同支出予定額は65億6,527万円です。

収入の主なものとは給水収益65億468万円（年間総給水量3,773万³）、加入金1億9,710万円、受託工事収益2,726万円などで、支出の主なものとは浄水費13億2,709万円、配水費6億3,346万円などです。

一方、資本的収入予定額は14億4,140万円、同支出予定額は44億3,067万円となっており、収入の主なものとは企業債12億5,600万円、工事負担金9,776万円などで、支出の主なものとは建設改良費31億2,453万円、企業債償還金13億613万円です。

(2) 経営の方針

水道事業においては、人口減少や社会における節水化の進展、また、市内事業者の専用水道や地下水の

利用への移行等により、給水量及び給水収益は今後も減少傾向が続くものと予測しています。その一方、水道管路の老朽化対策や災害対策など、安全・安心な水道を維持していくために必要な事業の遂行には今後も多額の資金が必要であり、将来にわたり持続可能な水道事業を行うため、経営基盤の強化を図ることが課題となっています。

このような状況の中、安全で安定した施設運営と持続可能な事業経営を目指すため、令和3年3月に改訂した「湖都大津・新水道ビジョン（重点実行計画・中長期経営計画（経営戦略））」に基づき、事業の効率的な実施を一層推進していきます。また、滋賀県下で進められている広域連携の取組を注視しながら、経営の健全化に徹底して取り組み、持続可能な水道事業の経営を目指します。

第2 下水道事業

1 事業の概況

(1) 総括事項

(業務状況)

令和3年度下半期の下水道事業は、調定件数は前年同期と比較して11,249件（1.4%）増加しましたが、期間有収水量は前年同期と比較して18万^m（1.0%）減の1,861万^mとなりました。

(建設・改良・維持管理)

生活環境の改善については、点在する下水道未整備地区の解消に向けて、北小松、大物、和邇北浜、仰木二丁目などで下水道の整備を実施しました。

地震対策事業では、総合地震対策計画に基づき、大津膳所北幹線及び南大萱1号幹線の耐震化工事を実施しました。

改築更新事業では、下水道ストックマネジメント計画に基づき、日吉台三丁目、木下町などにおいて管渠の改築工事や市内各地のマンホール中継ポンプ場における電気設備工事などを実施しました。

また、従来から進めてきた終末処理場の再構築については、水処理施設の基本設計を行いました。

雨水渠の整備については、殿田川において浸水対策を進めました。

水環境の保全については、水質改善を目的として進めている瀬田浦クリークの整備を引き続き実施しました。

その他、下水道施設の調査、清掃や修繕を随時行い、適切な維持管理に努めました。

(経理状況)

令和3年度下半期の収益総額は、流域下水道維持管理負担金の精算に伴う返還金を特別利益として計上したことなどにより、前年同期と比較して4億3,280万円（8.7%）増加し、53億8,603万円となりました。一方、費用総額は4,534万円（0.9%）増加して、48億9,816万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き4億8,787万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

区 分	単位	令和3年度 下半期	令和2年度 下半期	比較増減	伸び率(%)
調 定 件 数	件	840,869	829,620	11,249	1.4
期 間 有 収 水 量	m ³	18,611,199	18,793,040	△ 181,841	△ 1.0
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	102,259	103,258	△ 999	△ 1.0
下 水 道 使 用 料	円	3,299,070,279	3,337,717,964	△ 38,647,685	△ 1.2
そ の 他 収 益	円	2,086,960,195	1,615,508,052	471,452,143	29.2
総 収 益	円	5,386,030,474	4,953,226,016	432,804,458	8.7
総 費 用	円	4,898,156,144	4,852,811,455	45,344,689	0.9

※ 文中の金額などは、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

(1) 損益計算書

ア 下期

損 益 計 算 書

令和3年10月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

収 益	費 用
-----	-----

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	(3,560,610,146)	営 業 費 用	(4,545,769,475)
下 水 道 使 用 料	3,299,070,279	管 渠 費	119,934,690
雨 水 処 理 負 担 金	261,321,267	ポ ン プ 場 費	70,015,672
そ の 他 営 業 収 益	218,600	処 理 場 費	411,818,099
営 業 外 収 益	(1,662,421,940)	流 域 下 水 道 管 理 費	1,048,919,806
受 取 利 息 及 び 配 当 金	18,499	業 務 費	222,511,387
他 会 計 負 担 金	438,321,139	総 係 費	172,072,319
他 会 計 補 助 金	70,392,408	減 価 償 却 費	2,389,354,918
国 県 等 補 助 金	19,160,645	資 産 減 耗 費	110,745,584
長 期 前 受 金 戻 入	1,098,507,990	そ の 他 営 業 費 用	397,000
引 当 金 戻 入 益	117,000	営 業 外 費 用	(351,827,813)
雑 収 益	35,904,259	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	322,231,097
特 別 利 益	(162,998,388)	雑 支 出	29,596,716
過 年 度 損 益 修 正 益	162,998,388	特 別 損 失	(558,856)
		固 定 資 産 売 却 損	558,856
		当 期 純 利 益	(487,874,330)
計	5,386,030,474	計	5,386,030,474

イ 通期

損 益 計 算 書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	(7,119,180,339)	営 業 費 用	(8,018,933,542)
下 水 道 使 用 料	6,589,594,272	管 渠 費	196,613,238
雨 水 処 理 負 担 金	528,517,767	ポ ン プ 場 費	107,171,512
そ の 他 営 業 収 益	1,068,300	処 理 場 費	622,161,946
営 業 外 収 益	(3,230,153,599)	流 域 下 水 道 管 理 費	1,601,612,270
受 取 利 息 及 び 配 当 金	34,614	業 務 費	348,560,583
他 会 計 負 担 金	884,354,639	総 係 費	245,365,491
他 会 計 補 助 金	127,826,408	減 価 償 却 費	4,784,740,918
国 県 等 補 助 金	19,160,645	資 産 減 耗 費	111,730,584
長 期 前 受 金 戻 入	2,147,079,990	そ の 他 営 業 費 用	977,000
引 当 金 戻 入 益	117,000	営 業 外 費 用	(698,626,888)
雑 収 益	51,580,303	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	669,030,172
特 別 利 益	(649,006,415)	雑 支 出	29,596,716
過 年 度 損 益 修 正 益	649,006,415	特 別 損 失	(558,856)
		固 定 資 産 売 却 損	558,856
		当 期 純 利 益	(2,280,221,067)
計	10,998,340,353	計	10,998,340,353

(2) 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在
(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額

固 定 資 産	[121,689,884,135]	固 定 負 債	[29,495,827,582]
有 形 固 定 資 産	(113,595,247,253)	企 業 債	29,271,618,582
土 地	1,208,342,879	引 当 金	224,209,000
建 物	1,901,111,206	流 動 負 債	[4,593,430,371]
構 築 物	150,248,492,974	企 業 債	3,477,215,581
機 械 及 び 装 置	10,948,122,304	未 払 金	1,063,138,056
車 両 運 搬 具	4,555,778	未 払 費 用	1,775,163
工 具、器 具 及 び 備 品	89,997,317	引 当 金	40,006,646
建 設 仮 勘 定	944,207,648	そ の 他 流 動 負 債	11,294,925
減 価 償 却 累 計 額	△ 51,749,582,853	繰 延 収 益	[52,867,029,814]
無 形 固 定 資 産	(8,078,016,882)	長 期 前 受 金	77,375,760,828
地 上 権	198,088	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 24,508,731,014
施 設 利 用 権	8,030,230,294	資 本 金	[37,162,783,215]
預 託 金	28,660	資 本 金	37,162,783,215
ソ フ ト ウ ェ ア	47,559,840	剰 余 金	[190,585,362]
投 資 そ の 他 の 資 産	(16,620,000)	資 本 剰 余 金	190,585,362
そ の 他 投 資	16,620,000	当 期 純 利 益	[2,280,221,067]
流 動 資 産	[4,899,993,276]		
現 金 ・ 預 金	4,190,091,716		
未 収 金	730,224,560		
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△ 21,948,000		
そ の 他 流 動 資 産	1,625,000		
計	126,589,877,411	計	126,589,877,411

(3) 企業債及び一時借入金

企業債総額は、令和3年度末現在、次のとおりです。

(単位：円)

借 入 先	企 業 債 未 償 還 残 高
財 務 省	12,977,564,629
郵便貯金・簡易生命保険管理機構	1,809,417,239
地方公共団体金融機構	17,871,170,562
レーク滋賀農業協同組合	90,681,733
計	32,748,834,163

一時借入金は、令和3年度末現在ありません。

3 令和4年度予算の概要及び経営方針

(1) 予算の概要

令和4年度の収益的収入予定額は108億4,048万円、同支出予定額は93億8,833万円です。

収入の主なものは下水道使用料71億485万円（年間総処理水量4,972万 m^3 ）、雨水処理負担金5億4,647万円などで、支出の主なものは流域下水道管理費18億2,785万円、処理場費7億5,255万円などです。

一方、資本的収入予定額は11億円、同支出予定額は58億4,937万円となっており、収入の主なものは企業債2億7,200万円、補助金5億8,447万円などで、支出は企業債償還金34億9,243万円、建設改良費23億5,694万円です。

(2) 経営の方針

下水道事業においては、人口普及率が令和3年度末で98.5%と高い水準に達しており、事業の方向性は建設から維持管理へと大きくシフトしています。今後、下水道施設の改築や更新に多額の資金が必要となることから、支出の平準化を図りながら効率的に維持管理・運営を行っていくことが大きな課題となっています。

このような状況の中、安全で安定した施設運営と持続可能な事業経営を目指すため、令和3年3月に改訂した「大津市下水道事業中長期経営計画（経営戦略）」に基づき、効率的な業務執行と経費の節減を図

りながら、今後の下水道施設の本格的な改築更新に備えるとともに、公共用水域の水質保全と安全かつ快適な生活の実現を目指します。

また、令和4年度は、第6期まで31年間に及ぶ大津終末処理場再構築事業の第0期工事として、第一汚泥処理棟の解体工事に着手する予定です。

第3 ガス事業

1 事業の概況

(1) 総括事項

(業務状況)

令和3年度下半期のガス事業は、期間託送供給量は前年同期と比較して438万³m (6.1%)増加し、託送供給収益は前年同期と比較して6,281万円(3.1%)増の20億5,705万円となりました。

(建設・改良・維持管理)

拡張事業については、市北部及び市南東部地区において、供給区域内の未供給地区で導管整備を進めました。

また、宅地開発等に伴う都市ガス供給申請の要望に基づく導管整備や導管のループ化など、安定したガス供給の確保に努めました。

改良事業については、都市ガスの長期的な安定供給を図るため、経年管の布設替えや耐震性ガス導管の整備を継続して行い、ガス漏れに対する予防保全及び地震災害に強いガス導管の整備に努めました。

保安対策については、企業局保安センターでの24時間体制の下、ガス漏れ通報や火災発生時に緊急出動し、一次処置対応や修繕業務等を行い、二次災害の防止に努めました。

また、大津市ガス特定運営事業等の実施に当たり、公共施設等運営権者であるびわ湖ブルーエナジー株式会社を適正にモニタリングしました。

(経理状況)

令和3年度下半期の収益総額は、前年同期と比較して7,425万円(3.2%)増加し、24億207万円となりました。一方、費用総額は3,355万円(1.7%)減少して19億3,492万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き4億6,715万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

区 分	単位	令和3年度 下半期	令和2年度 下半期	比較増減	伸び率(%)
期末託送供給件数	件	101,415	100,555	860	0.9
期間託送供給量	m ³	75,703,712	71,327,596	4,376,116	6.1
一日平均託送供給量	m ³	415,954	391,910	24,044	6.1
ガス売上	円	474,381	496,188	△21,807	△4.4
託送供給収益	円	2,057,050,523	1,994,243,668	62,806,855	3.1
受注工事収益	円	157,670,591	158,573,718	△903,127	△0.6
特定事業収益	円	97,044,942	96,534,058	510,884	0.5
その他収益	円	89,830,578	77,973,190	11,857,388	15.2
総収益	円	2,402,071,015	2,327,820,822	74,250,193	3.2
総費用	円	1,934,922,482	1,968,476,486	△33,554,004	△1.7

※ 文中の金額などは、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

(1) 損益計算書

ア 下期

損 益 計 算 書

令和3年10月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

収 益	費 用
-----	-----

科 目	金 額	科 目	金 額
ガス事業売上高	(2,057,524,904)	営業費用	(1,638,078,121)
ガス売上	474,381	売上原価	460,352
託送供給収益	2,057,050,523	供給販売費	1,444,678,354
営業雑収益	(157,670,591)	一般管理費	192,939,415
受注工事収益	157,670,591	営業雑費用	(183,305,418)
附帯事業収益	(97,044,942)	受注工事費用	183,305,418
特定事業収益	97,044,942	附帯事業費用	(100,786,101)
営業外収益	(64,761,103)	特定事業費用	100,786,101
受取利息及び配当金	12,189,462	営業外費用	(12,560,859)
他会計負担金	31,522,035	雑支出	12,560,859
長期前受金戻入	10,128,212	特別損失	(191,983)
雑収益	10,921,394	減損損失	191,983
特別利益	(25,069,475)	当期純利益	(467,148,533)
固定資産売却益	25,069,475		
計	2,402,071,015	計	2,402,071,015

イ 通期

損益計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
ガス事業売上高	(3,505,659,287)	営業費用	(3,008,954,420)
ガス売上	848,226	売上原価	631,991
託送供給収益	3,504,811,061	供給販売費	2,713,386,648
営業雑収益	(381,997,415)	一般管理費	294,935,781
受注工事収益	381,997,415	営業雑費用	(374,849,459)
附帯事業収益	(162,150,702)	受注工事費用	374,849,459
特定事業収益	162,150,702	附帯事業費用	(157,366,041)
営業外収益	(108,994,575)	特定事業費用	157,366,041
受取利息及び配当金	23,756,020	営業外費用	(20,993,677)
他会計負担金	31,522,035	雑支出	20,993,677
長期前受金戻入	20,232,212	特別損失	(191,983)
雑収益	33,484,308	減損損失	191,983
特別利益	(25,069,475)	当期純利益	(621,515,874)
固定資産売却益	25,069,475		
計	4,183,871,454	計	4,183,871,454

(2) 貸借対照表

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	[19,327,614,839]	固定負債	[651,409,000]
有形固定資産	< 11,575,457,883 >	引当金	651,409,000
供給設備	(50,535,691,185)	流動負債	[1,942,515,796]
土地	541,919,664	買掛金	92,892

建 物	996,062,473	未 払 金	483,383,229
構 築 物	174,490,379	未 払 費 用	1,882,134
機 械 及 び 装 置	1,029,587,294	前 受 金	162,213,270
導 管	47,441,175,197	預 り 金	1,252,828,637
ガ ス メ ー タ ー	258,638,436	引 当 金	38,865,634
車 両 運 搬 具	33,177,865	そ の 他 流 動 負 債	3,250,000
工 具、器 具 及 び 備 品	60,639,877	繰 延 収 益	[282,616,774]
供 給 設 備 減 価 却 累 計 額	(△ 39,188,983,999)	長 期 前 受 金	355,469,955
業 務 設 備	(399,702,052)	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 72,853,181
土 地	129,914,228	資 本 金	[24,305,721,611]
建 物	161,732,134	資 本 金	24,305,721,611
構 築 物	13,026,790	剰 余 金	[3,000,142,725]
車 両 運 搬 具	2,016,017	資 本 剰 余 金	142,725
工 具、器 具 及 び 備 品	93,012,883	利 益 剰 余 金	3,000,000,000
業 務 設 備 減 価 却 累 計 額	(△ 221,901,620)	当 期 純 利 益	[621,515,874]
建 設 仮 勘 定	(50,950,265)		
無 形 固 定 資 産	< 104,550,956 >		
電 話 加 入 権	711,976		
預 託 金	110,730		
ソ フ ト ウ ェ ア	103,728,250		
投 資 そ の 他 の 資 産	< 7,647,606,000 >		
投 資 有 価 証 券	7,600,000,000		
そ の 他 投 資	47,606,000		
流 動 資 産	[11,476,306,941]		
現 金 ・ 預 金	10,187,028,665		
売 掛 金	833,468,287		
未 収 金	5,732,814		
有 価 証 券	400,000,000		
貯 蔵 品	46,827,175		
そ の 他 流 動 資 産	3,250,000		
計	30,803,921,780	計	30,803,921,780

(3) 企業債及び一時借入金

企業債及び一時借入金は、令和3年度末現在ありません。

3 令和4年度予算の概要及び経営方針

(1) 予算の概要

令和4年度の収益的収入予定額は43億8,719万円、同支出予定額は41億512万円です。

収入の主なものは託送供給収益37億217万円（年間託送総供給量1億3,811万³m³）、受注工事収益4億2,931万円で、支出の主なものは供給販売費30億5,215万円、受注工事費用4億1,803万円などです。

一方、資本的収入予定額は4億2,630万円、同支出予定額は14億5,124万円です。収入の主なものは投資4億円などで、支出は建設改良費10億5,124万円、投資4億円です。

(2) 経営の方針

ガス事業においては、今後の人口減少や少子高齢化の進行により、将来のガス需要の減少が予想されることに加え、近年頻発する大規模災害や不安定な世界情勢など、ガス事業を取り巻く環境は年々変化しています。

このような状況の中、ガス事業者の使命である安全で安定したガスの供給と更なるお客様サービスの向上を図るため、令和3年3月に改訂した「大津市ガス事業中長期経営計画（経営戦略）」に基づき、効率的な業務執行と経費の節減を図りながら、安全・安心なガスの供給に努めます。

また、大津市ガス特定運営事業等の実施に当たり、引き続き公共施設等運営権者であるびわ湖ブルーエナジー株式会社を適正にモニタリングしていきます。